

平成30年住宅・土地統計調査住宅数概数集計（石川県分）の概要

住宅・土地統計調査は、国民の住生活に関する最も基本的な調査で、住生活関連諸施策立案のための基礎資料を得ることを目的として、昭和23年以来5年ごとに実施されている調査です。

この資料は、平成30年10月1日現在で実施された調査の結果（住宅数概数集計）について、石川県分の概要をとりまとめたものです。

なお、この調査は標本調査であり、本県で調査対象となったのは、約34千の住戸と世帯（全国で約370万の住戸と世帯）です。

（総務省統計局発表（平成31年4月26日）の「平成30年住宅・土地統計調査（住宅数概数集計）結果」より）

（※全国順位は、1の空き家率を除き、数値の大きい順とした。）

1 空き家率は14.5%で、前回に比べ0.3ポイント低下 【全国第21位（前回：第28位）】

本県の総住宅数は537千戸で、前回（平成25年）からの5年間で16千戸（3.1%）増加した。

また、空き家率は14.5%で、前回に比べ0.3ポイント低下し、全国第21位（前回：第28位）となった。

なお、全国の総住宅数は6,242万戸で、前回からの5年間で179万戸（3.0%）増加し、空き家率は13.6%となり、前回に比べ0.1ポイント上昇した。

2 木造率は74.0%で、前回に比べ1.6ポイント低下 【全国第14位（前回：第14位）】

本県の住宅の木造率（防火木造含む。）は74.0%で、前回に比べ1.6ポイント低下し、全国第14位で前回と同順位となった。

なお、全国の木造率は56.9%で、前回から0.9ポイント低下した。

3 一戸建て率は69.3%で、前回に比べ2.2ポイント低下 【全国第20位（前回：第21位）】

本県の一戸建て率は69.3%で、前回に比べ2.2ポイント低下し、全国第20位（前回：第21位）となった。

なお、全国の一戸建て率は53.6%で、前回から1.3ポイント低下した。

※ 住宅・土地統計調査

我が国における住戸（住宅及び住宅以外で人が居住する建物）に関する実態並びに現住居以外の住宅及び土地の保有状況等に関する実態を調査し、その現状と推移を全国及び地域別に明らかにすることにより、住生活関連諸施策の基礎資料を得ることを目的として、昭和23年以来5年ごとに実施しており、平成30年の調査は15回目に当たる。

主な調査内容は、居室の数及び広さ、敷地面積、建物の構造、高齢者等のための設備の有無、増改築及び改修の有無、耐震診断の有無等である。